

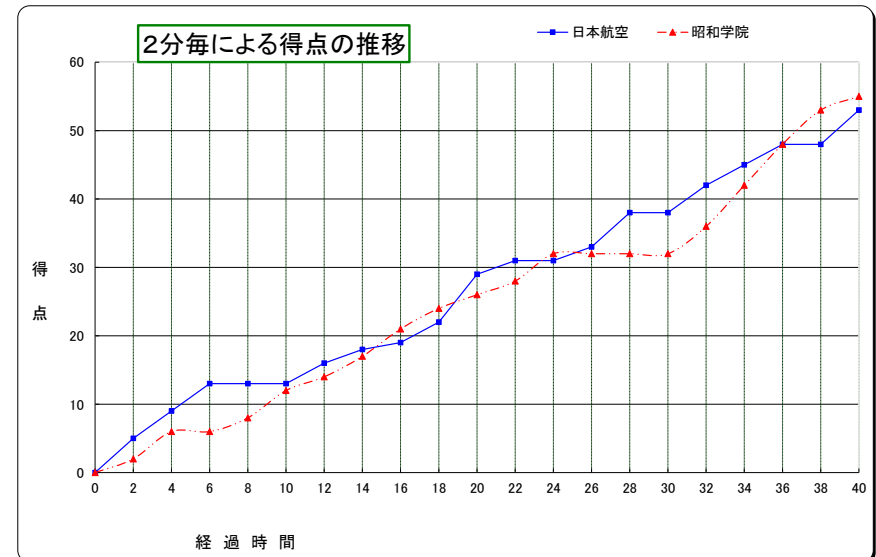
令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月4日(日)
深谷ビッグタートル
決勝

チームA 日本航空 (山梨)	53	{	<table border="0"> <tr><td>13</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>9</td><td>3rd</td><td>6</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>23</td></tr> </table>	13	1st	12	16	2nd	14	9	3rd	6	15	4th	23	}	55	チームB 昭和学院 (千葉)
13	1st	12																
16	2nd	14																
9	3rd	6																
15	4th	23																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
0	森田 椿彩	2			1	1			3						
5	藤井 花	11	1	3	4	10			4	1	1		1		4
8	松久 明未	0													
11	大柴 沙和	6	1	1	1	7	1	2	2	1	6	1	1		6
14	野田 優菜	0													
17	末木 わか	11	3	6	1	5					4				2
18	原 優月	0													
20	富田 穂生	0													
28	林 姫歌	0													
31	古畑 美咲妃	0													
32	宮下 世風	0													
39	楨 さくら	0													2
42	SOETN OYBKANSOLA SHADE	15			7	15	1	2	3	8	10			3	1
50	那須 寧	8	2	5	1	4				1	1				3
88	戸澤 美智琉	0													
コーチ	逆瀬川 慶浩														
	確率	53	7	15	15	42	2	4	12	11	22	1	2	3	18
	確率		46.7%		35.7%					計	33				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	月松 蒼	10	0	5	3	6	4	4	1	3	7	2	1		3
5	前田 珠涼	7	1	7	2	7			1	2	4	1			2
6	辻 菜々子	0													
7	石井 杏奈	4	0	1	2	8				2	2	4		1	
8	山下 笑侖奈	17	0	4	6	10	5	5	1	4	3	2			3
9	藤松 柚乃	10	0	2	5	8			1		6	2			3
10	長谷部 こころ	0													
11	小崎 心花	3	1	1											
12	壽原 理彩	0													
13	大沼 華奈	0													
14	赤尾 さやか	0													
15	濱裕 あかり	0													
16	藤原 花菜	0													
17	佐野 夢佳	0													
18	嶋田 百花	4			1	2	2	2		2	1				
コーチ	鈴木 親光														
	確率	55	2	20	19	41	11	11	4	13	23	11	1	1	11
	確率		10.0%		46.3%					計	36				



戦評

第1Q日本航空は#5、17のジャンプシュートと#17の3Pで得点を重ねていく。対する昭和学院は#4の連続ジャンプシュートについていく。そこから昭和学院はシュートがリングに嫌われ無得点の時間帯が続く。その中で日本航空は#11のインターセプトから#0にボールが渡りレイアップシュートを決める。残り4:20のところで昭和学院はタイムアウトを請求した。その後交代した#18がペイントエリアで1対1を仕掛け、流れを変える活躍をする。

第2Q日本航空は#11のドライブインシュートや#42のゴール下の得点で流れをつかむ。対する昭和学院は交代した#11がすぐ3Pを決め、ベンチや応援席も盛り上がる。#8、#4がドライブインからファールを誘い、フリースローを確実に決めていく。ここで日本航空はタイムアウトを請求し、その後のプレイで#5がジャンプシュート、#50が3Pを決め、29対26日本航空リードで前半を終えた。

第3Qになり日本航空#42がゴール下で得点を重ねていく。残り7:41のところで昭和学院#5がジャンプシュートを決め、1点差に詰める。しかし日本航空#42の高さを活かしたゴール下のプレイで一進一退の攻防が続く。#50の3Pも決まったところで昭和学院はタイムアウトを請求した。6点差で昭和学院が日本航空を追いかける形でこのQが終わる。

第4Q昭和学院#8の3Pから始まる。対する日本航空は#5のドリブルインシュートで対抗する。なかなか点差が縮まらないところで残り8:34に昭和学院がタイムアウトを請求する。このタイムアウト後に流れが変わる。昭和学院はディフェンス強度を上げ、ボールマンにプレッシャーをかけていく。このディフェンスに日本航空はミスをしてしまい昭和学院#7のインターセプトから#9がシュートを決め、反撃のきっかけを作る。残り7:28ここで日本航空はタイムアウトを請求する。タイムアウト後も昭和学院の積極的なディフェンスが日本航空を苦しめる。ここから昭和学院#9の連続得点で逆転に成功する。対する日本航空は#17の3Pで応戦する。#42のゴール下シュートを昭和学院#7がブロックショットをし、次のオフェンスで#8がバスケットカウントからフリースローを確実に決め流れを引き寄せる。日本航空#42がリバウンドシュートを決め、一進一退の時間帯の中、昭和学院#8が連続得点し得点差を5点差にしたところで日本航空が最後のタイムアウトを請求した。次のプレイで日本航空#11が3Pを決め得点差を2点まで詰めることができたが、最後は昭和学院がボールをコントロールして試合終了となった。

最初から最後までどちらが勝つかわからないナイスゲームだったが、最初から最後まで応援席で大きな声を出し仲間を励まし勇気づけた両チームの応援がとても素晴らしかった。大きな声を出して応援することができなかった時期もあったが、コート、ベンチ、応援席みんなで戦う高校バスケのいいところが全て出た決勝戦に相応しいナイスゲームだった。

Ref	大庭 英裕	1st U	中嶽 希美子	2nd U	佐田 幸一
-----	-------	-------	--------	-------	-------